

【月案】10月・5歳児

今月の保育のポイント

- 運動会の取り組みにおいては、ひとりひとりが主役になれる場面をつくっていく。たとえ運動が苦手であっても、つくりものや係などで力を発揮できる環境を取り入れる。子どもたちが自分達で作上げた実感を得られるような運動会の取り組み過程を目的とする。
- リレーなど、チームで力を合わせる遊びを行い、身体を心地よく動かしながら勝ち負けを経験し、仲間を応援したり、認める経験を積んでいく。チームワークや達成感を味わう。
- クラスの中で、取り組みや遊びを通して、それぞれの個性、失敗、長所短所を認めていけるような雰囲気づくりを保育者は導く。「●○のせいで負けた」など、子どもの一方的な思いや葛藤を良い材料とし、反対側にいる友達の気持ちや未来の結果へのつながり方について丁寧に話し合っていく。
- 運動する力は個人差があるので、まずは楽しむことを前提とし、子ども自身のプライド、葛藤に丁寧に付き合って寄り添っていく。

月のねらい

- 自分なりの目標や目的を持って運動会の練習に取り組む。
- 友達と一緒に目標を達成する達成感を味わう。
- 健康や安全に気をつけながら活動したり遊んだりする。
- イモ掘りに参加し、秋の食材に興味を持つ。
- 秋の自然に触れ、遊びの中に取り入れたり試したりして遊ぶことを楽しむ。
- 一人ひとりの思いに寄り添い、期待を持って運動会に参加出来るようにする。
- 季節の変わり目を快適に過ごすための方法を知る。
- 友達を認めたり励ましたりしながら仲間意識が深まる。
- 自分の力を発揮する充実感を感じ、意欲的に過ごす。
- 友達と思いを伝え合って遊ぶことを楽しむ。

週のねらい

その1

- 1週目：自分なりの目標や目的を持って遊んだり活動したりする（教育）
- 2週目：友達や保育者の話をよく聞き、自分の気持ちも相手ができるように話す（教育）
- 3週目：友達と一緒に、目的を持って活動する充実感を味わう（教育）
- 4週目：秋の自然に触れ、植物や生き物に関心を持つ（教育）

その2

- 1週目：戸外から帰ったときは手洗い・うがいを自ら行う（養護）
- 2週目：自分の思いや考えを伝えるだけでなく、相手の話を聞こうとする態度を身につける（教育）
- 3週目：係の活動や保育者の手伝いを通して、達成感やよろこびを味わう（養護）
- 4週目：季節の変化に興味を持ち、発見や調べものを楽しみながら関心を深める（教育）

その3

- 1週目：期待や不安、緊張等に寄り添い安定して過ごせるようにする（養護）
- 2週目：楽しい雰囲気の中、一人ひとりが自分の力を発揮できるようにする（養護）
- 3週目：経験した出来事を絵や言葉で表現し、友達と伝え合う（教育）
- 4週目：秋の爽りに興味を持ち、ハロウィン会やイモ掘りを楽しむ（教育）

その4

- 1週目：衣服調節や休息、水分補給等を行い、心地良く過ごそうとする（養護）
- 2週目：友達と運動会に参加し、自信や達成感、友達との一体感を感じる（教育）
- 3週目：ハロウィンの由来を知り、イメージを膨らませながら製作を楽しむ（教育）
- 4週目：話し合っってルールを決めたり、トラブルを解決しようとする（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 草花に興味を示し、色水遊びをしたりままごとに使ったりして遊ぶ姿が見られた。色の違うものを合わせて色の変化も楽しみ、色に合わせてジュースに見立てて遊んでいる子どももいる。
- 自分のロッカーの中をこまめに整理してきれいに使う子どももいれば、乱雑にもものを入れてしまう子どももいる。友達がきれいにしている様子を見て、一緒にきれいにしようとする姿が見られる子どももいた。
- 服を畳む際には、畳み方を知っていても次の活動に気が向いてしまい、最後まで丁寧に片付けられない子どももいた。
- 保育室に貼っているひらがな表や数字の表に興味を持ち、「これはなんて読むの?」「もうこの字書けるよ」など子ども同士でやりとりする姿が見られた。また、時計を読んで活動の見通しが持てるようになってきている子どももいる。
- 防災訓練では、保育者の話をよく聞いて、真剣に取り組む姿が見られた。
- 敬老の日や十五夜等の行事に興味を持ち、製作したり、得た知識を言葉にする様子が見られた。
- 運動会への取り組みや日中の過ごしやすさから運動量が増え、食事の時間を楽しみにしたり意欲的に食べる姿が見られている。
- 敬老の日の交流や消防士の方との防災訓練では、興味を持って話を聞いたり疑問に思ったことを質問したりしていた。
- 夏野菜の栽培が終わり、「種を植えたらまた出てくるかな」と言葉にしたり、給食の食材を見て「どうやって作ってるのかな」と疑問を言葉にしていた。
- 厳しい残暑の中、自ら水分補給をしたり着替えをしたりしながら過ごしていた。

教育（遊び）

- 友達や保育者に思ったことや考えたことを積極的に言葉で表現できる子どもが増えてきた。一方で、伝えることに一生懸命になりすぎて、友達の話落ち着いて聞けないこともある。
- 体操遊びでは、戸外でも室内でも思いっきり身体を動かして楽しそうにしている子どもが多く、運動会にも期待をもっている様子が見られる。
- 保育室に準備しておいた様々な廃材に興味を持ち、「これ合わせたらできるんじゃない?」「ここは違うの使って作ったよ」などそれぞれ工夫したり試したりしながら、思い思いに製作を楽しんでいた。

- 敬老の日のプレゼント製作では、ハサミなどの使い方に自分で気をつけようとしながら、最後まで丁寧に仕上げていた。プレゼントができると喜び、渡すのを心待ちにしている姿も見られた。
- 運動遊びでは自分なりの目標や友達の姿に影響を受けて挑戦する様子が見られていた。
- 「これが終わったらこうしよう」と友達と遊びの計画を立てて楽しむ様子が見られた。
- 異年齢児の憧れの眼差しや友達から認められることで自信や挑戦意欲が高まっていた。
- 運動会に向けて友達と競い合ったり力を合わせることを楽しむ。一方で、負けると物に当たったり、言葉が乱暴になったり、意欲がなくなる様子が見られていた。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活**：自分で必要に応じて衣類の着脱を行い、体温調節を行う。（健康）
環：遊びに夢中になると衣類の調節を忘れてしまう子どももいる。汗をかいている子どもには声をかけ、必要性に気付けるようにしていく。
- **活**：異年齢の友達と関わり、優しくしようとする。（人間関係）
環：自由遊びや戸外遊びの際には、年下の友達とも関わる機会が持てるようにする。優しく声をかけたり、親切な態度で接したりできるよう、必要に応じて関わり方を知らせていく。
- **活**：自分の思いや気持ちを言葉で伝え、相手の話も聞こうとする。（言葉・人間関係）
環：トラブルなどで子どもの感情が不安定な時は、子どもの情緒が安定する時を待ってから話すようにし、落ち着いて理解ができるようにする。
- **活**：朝や帰りの挨拶、食事の挨拶など、自ら進んで行う。（人間関係・言葉）
環：挨拶の大切さを伝え、保育者自身も子どもに対して積極的に挨拶などを行っていくように気を付ける。
- **活**：自分の健康や安全に気を付けながら過ごす。（健康）
環：手洗い、食事、睡眠等、健康の大切さや、危険と安全を理解できるように、ひとつひとつの行為について一緒に考えたり、大切さを伝えていく。
- **活**：友達と助け合いながら、生活を進める。（人間関係）
環：生活場面で1人では難しそうなのに気づいた子どもを誉めたり、保育者の気づきを子どもに伝える等、子どもにとって協力することで生活が楽になる経験ができるように援助をする。
- **活**：自分の思いを時に友達や保育者に受けてもらいながら、自信と安心をもって生活する。（健康・人間関係）
環：子どもが友達と協力したり、呼びかけたり、喧嘩したりする中で、一人ひとりの葛藤や諦め、悲しかったこと等、子どもの気持ちをしっかり受け止め、安心して生活ができるようにする。
- **活**：運動会に対する期待や不安に寄り添いながら意欲的に過ごせるようにする。（健康）
環：競技や役割等に対する意欲や不安な気持ち等を受け止め、当日への期待が膨らむように関わったり、不安が軽減するように働きかけていく。
- **活**：運動会に向けた活動と休息、遊びのバランスを考慮し、安定した生活を送れるようにする。（健康）
環：運動会だけの活動になってしまわないよう活動時間や頻度等に十分に留意し、健康面や情緒面の安定を図っていくようにする。
- **活**：行事を通して、日本や他の国に興味を持つ。（環境）
環：万国旗を飾ったり、国旗についての図鑑やカードゲームを取り入れたり、ハロウィンについて分かりやすく知らせて興味や関心に繋げていく。
- **活**：旬の食材や収穫した食材を使ったクッキングを楽しむ。（環境）
環：発見や気付きを受け止めながら食材や旬に対する関心を深めていく。自分で作った料理を食べることで食への意欲に繋がったり、季節の食事を楽しめるようにする。

- **活**：公共のマナーがあることを知り、守ろうとする。（人間関係・環境）
環：公共の施設を使用する時のマナーや交通ルール等について子ども達と一緒に考え、守ろうとする姿を大いに認めながら意識の継続に繋がったり、社会のルールを身につけられるようにする。
- **活**：自分で食べられる量が分かってくるようになり、調節しながら完食を目指す。（健康）
環：自分で選んだり調整したりする機会を作り、食事に対する感覚を育んだり完食する喜びを感じられるようにする。
- **活**：散歩や園外保育を通して、様々な人や職業に興味を持つ。（人間関係）
環：保育者が地域の人と触れ合う姿を示して交流のきっかけを作り、触れ合う楽しさを感じられるようにする。地域の人や仕事等について考える機会を設けながら自分が住む地域や人、仕事に対する興味を育てていく。
- **活**：生活の流れを理解し、主体的に行動する。（環境）
環：活動の予定を平仮名とイラスト、時計等を使って示しておき、時間を意識して行動出来るように関わる。自主性を温かく認めて、意欲的な生活に繋がっていく。
- **活**：着替えをした時は、正しく着用出来ているか確認し身だしなみを整えようとする。（健康）
環：鏡を設置しておき、自分の状態を確認できる環境を作りながら自分を客観視する見方を伝えていく。身だしなみが整う心地良さを感じられるように関わる。

教育（遊び）

- **活**：身体を思いっきり動かして活動する中で、自分の力を発揮する心地よさを味わう。（健康）
環：運動会の練習では、子どもが意欲的に練習に取り組めるように声をかけていく。苦手意識のある子どもは励ましたり褒めたりしながら、期待感を持って練習できるように配慮する。
- **活**：遊びや生活の中で文字や数字、時間などに触れ、興味や関心を深めていく。（環境）
環：子どもが時計や数字に興味を持てるよう、活動の時間を時計で見ながら知らせる。また、遊びの中でも親しんでいけるように、文字や数字を使った遊びを提供していく。
- **活**：友達と一緒に遊ぶ中で自分の思いを伝えたり相手の気持ちを聞いたりし、友達と一緒に遊びを進める充実感を味わう。（人間関係・表現・言葉）
環：友達と気持ちを伝え合う際には、折り合いがつかず言い合いになったり思うように気持ちが伝わらないこともある。子どもたち同士のやりとりを大切にしながら、必要に応じて仲立ちに入って、それぞれの思いを伝え合う機会が持てるようにしていく。
- **活**：物語の世界に想像を膨らませ、本を読んだり読み聞かせを聞いたりすることを楽しむ。（言葉）
環：子どもたちが絵本を自由に見られるように準備しておく。また、季節に合わせた絵本や興味にあった物語などの読み聞かせも行い、想像を膨らませる楽しさを味わえるようにする。
- **活**：運動会に向けて、一生懸命に練習に取り組む。（人間関係・健康）
環：子ども自身で目標を決めたり、それに向かって頑張る姿を励まし、保育者も子どもと同じ気持ちと目線で歩いていく。
- **活**：見つけた自然物を使って製作をしたり、遊びに使って楽しむ。（表現）
環：見つけたものを調べ、とっておき、それらを製作活動で使う。保育者は子どもの不思議と一緒に調べながら、子どもの発見や気づきに共感し、同じ目線で楽しみながら進めていく。
- **活**：友達とイメージを伝え合いながら、やりたいことを形にしていく。（人間関係）
環：イメージを絵に描いて伝え合うことや、話す以外の手段も伝え、紙や書くもの等、環境を用意しておく。子ども同士でやりたいことの反発が見られる時は、しばらく見守り、個々の残念な気持ちを受け止め、これからの解決に向けて一緒に話し合う。
- **活**：木々の色づきや季節の変化を感じとり、表現する。（環境・表現）
環：色んな色の落ち葉を並べて紅葉度を比較したり、その色と一緒に作ってみるなど、見た物や触れた物を表現活動に昇華させ、感性の育ちを促す。

- **活**：イモ掘りをしたり身近な自然に触れたりし、秋の自然に興味や関心を持つ。（環境）
環：イモ掘りの際には子どもがみんな体験できるようにする。イモ掘りの後にはイモを観察したり図鑑で見たりしながら、関心が深まるように活動に繋がりをを持たせていく。
- **活**：秋が旬の食材を知り、料理や食に関心を持つ。（環境・健康）
環：給食の前に秋の食材クイズなど、楽しく子どもが関心をもてるような小さな取り組みを入れていき、旬の存在を意識できるようにする。
- **活**：運動会に向けた作り物や係にも意欲的に取り組み、満足感を味わう。（環境）
環：運動に苦手意識がある子も製作や係等で自分の力を発揮できる場面を作ること、運動会に対する期待に繋がったり、自己肯定感を育てていく。
- **活**：友達と一緒に、目標に向かって取り組む喜びや楽しさを味わう。（人間関係）
環：達成に向けて考えを出し合う姿を見守ったり、様子に応じて考えをまとめたりしながら、友達と達成する喜びを味わえるよう援助する。
- **活**：経験した出来事を表現することを楽しむ。（表現）
環：行事で使用した道具や用具を継続して準備したり、様々な玩具や素材を用意しながら自由に表現できるようにする。表現を大いに認めながら、余韻を味わったり創造力に繋げていく。
- **活**：出来るようになったことを友達と認め合い、充実感を味わう。（人間関係）
環：発表し合う時間を設け、保育者が一人ひとりの良さを見つけて認めていくことで、子ども同士も認め合うことができる雰囲気作りをしていく。
- **活**：ルールのある集団遊びを楽しむ。（人間関係）
環：友達と楽しむ姿が見られる時は楽しさに共感しながら見守る。様子に応じて、じゃんけんやサイコロを使う方法や数の数え方等について知らせたり、互いの思いを尊重したルール変更等について一緒に考えていく。
- **活**：友達と力を合わせたり、応援したり、励まし合うことを通して友達と過ごす喜びを味わう。（人間関係）
環：「応援してくれて嬉しいね」「皆の力でパラバルーンが出来たね」「協力してゴール出来たね」等と大いに認めながら、達成感や友達と過ごす喜び、仲間の一人である自信や自覚に繋げていく。
- **活**：様々な素材を使いながら立体的な作品を作ることを楽しむ。（環境・表現）
環：豊富な材料を用意しておき、工夫したり集中している姿を見守りながら、立体になる楽しさや空間認知能力、創造力等に繋げていく。困っている時は、一緒に考えたりさりげなくヒントを伝えていく。
- **活**：様々な葛藤や感情を経験し、言葉や態度で伝えようとする。（人間関係・表現）
環：喜びや悔しさ、悲しさ等に寄り添いながら、快の感情は次への意欲に繋がるよう関わり、負の感情は表現の仕方や気持ちの切り替え方を伝えて、心の成長に繋げていく。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 運動会に向けて体力をつけ、本番まで怪我をしないようにしていく。
- 肌寒い日も出てくるため、気候の変化に合わせて体温調節を行うように声をかけていく。
- 全職員で運動会の演目や環境整備、応急処置等について確認し合い、健康的で安全な運動会を実施出来るようにする。
- 園外保育を行う際は、日程や配慮事項、子どもについての情報共有等入念に打ち合わせを行う。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- リーカップでハロウィンの帽子製作／秋の味覚でちぎり絵製作／さんまの製作

歌

- ジグザグおさんぽ／ゆうやけこやけ／ちいさなこのみ

絵本

- うさぎとかめ／ねずみくんとおばけ／おばけパーティ

手遊び

- こんこんクシャン／おいもころころ／3びきのこぶた

室内室外遊び

- 新聞紙玉入れ／葉っぱで貼り絵／トンボの捕まえ方

行事

- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定
- スポーツの日（第2月曜日）
- 紅葉狩り（10/1～）
- 鉄道の日（10/14）
- 十三夜（10/18）
- ハロウィン（10/31）

食育

- 絵本や遊びを通して秋の食べ物に親しみ、食への関心を高める。
- 食事のマナーを守り、苦手な食べ物も頑張って食べてみる。
- 箸でほぐしたり、つまんだり、様々な箸の使い方ができるようになる。
- 友達と一緒に食事をする場を整え、楽しく食べる。

地域と家庭との連携

- 運動会についての詳細を伝え、協力してもらうことや子どもたちが行う競技についてお知らせする。
- 運動会には保護者の方や地域の方、小学生や未就園児が参加できる競技も取り入れ、いろんな人と関わり繋がりが持てるようにする。
- 汗をかいたり汚れたりすることも多いので、着替えを準備してもらうようお願いする。

- イモ掘りの日程や準備物を伝えたり、収穫してきたイモを持ち帰ってもらうことで家庭でも食育活動を楽しめるようにする。
- 運動会に向けた子どもの思い、運動遊びや役割に取り組んでいる様子等を伝え、園と家庭で頑張りを認めたり、支えていけるような連携を図る。
- 地域の方にサツマイモの掘り方を教えてもらう中で交流を図る。

自己評価

- 自分で必要に応じて衣類の着脱を行い、体温調節を行うことができていたか。
- 異年齢の友達と関わり、優しい態度で接しようとする姿が見られたか。
- イモ掘りに参加し、秋の食材や食に対して関心が深まったか。
- 自分の思いや気持ちを言葉で伝え、相手の話も聞くことができたか。
- 朝や帰りの挨拶、食事の挨拶など、自ら進んで行うことができたか。
- 身体を思いっきり動かして活動する中で、自分の力を発揮する心地よさを味わえたか。
- 文字や数字に興味を持ち、生活の中で親しみを持つことができたか。
- 友達と思いを伝え合いながら遊び、一緒に試したい工夫したりする充実感を味わえたか。
- 期待や不安に丁寧に寄り添いながら、意欲的に生活を送れるよう関わったか。
- 行事の取り組みと休息や自由遊びのバランスに配慮し、安定して過ごせるようにしたか。
- 友達と競い合ったり、一つの演目を完成させたりする中で仲間意識が深まっていたか。
- 葛藤する思いや感情等を言葉で表現できていたか。
- イメージするものや経験したことを、様々な方法で自由に表現できていたか。
- マナーやルールを守る大切さに気付くことができるよう働きかけたか。
- 園生活最後の運動会が楽しく良い思い出になるよう、全職員で一丸となれたか。
- 保護者の方と運動会を通して、子どもの精神面や身体面の成長を共有したか。